







資源循環

インタビュー ◎ テラサイクルジャパン (日本代表) ジェネラルマネージャー 浪花優子氏

昨年7月にテラサイクルジャパン(横浜市)のジェネラルマネージャー(日本代表)に就任した浪花優子氏は、アパレル業界でのサステナビリティ分野の経験を生かし、幅広い分野での資源循環、サーキュラーエコノミーの実現に貢献することを目指す。同社は、これまで100を超える企業と共同し、現在約50のプログラムを実行している。来年は地元横浜で「国際資源循環展(GREX EXPO 2026)」を開催し、こうした機会を通じてさらなるサステナブルな開発を推進し、脱炭素社会の実現を目指すという。



テラサイクルに入社してからは、アパレル業界での経験を生かし、幅広い分野での資源循環、サーキュラーエコノミーの実現に貢献することを目指す。同社は、これまで100を超える企業と共同し、現在約50のプログラムを実行している。来年は地元横浜で「国際資源循環展(GREX EXPO 2026)」を開催し、こうした機会を通じてさらなるサステナブルな開発を推進し、脱炭素社会の実現を目指すという。

グローバルな視点で、日本のリサイクル文化を変える 「捨てる」という概念を捨てよう」に共感

「捨てる」という概念を捨てよう。これは、日本のリサイクル文化を変えるための重要なメッセージである。浪花優子氏は、グローバルな視点から日本のリサイクル文化を分析し、その課題と可能性を指摘している。彼女は、日本では「捨てる」という行為が、リサイクルの第一歩として認識されているが、これは必ずしも持続可能な解決策ではないと指摘している。むしろ、資源を循環させるための「捨てる」の概念を根本的に見直し、リサイクルを「捨てる」の代わりとする必要があると主張している。

石坂産業 来年1月「石坂組」に社名変更
石坂産業(埼玉県)は、来年1月に「石坂組」に社名を変更する。これは、創業100周年を記念した一大事業である。浪花優子氏は、この社名変更について、単なる社名の変更ではなく、企業文化の刷新と、持続可能な成長へのコミットメントを示している。彼女は、石坂組としての新たなビジョンと、従業員への期待を語り、この変化が企業全体の価値を高めることに貢献することを期待している。

緑あふれるクリーンな日常を世界に〜加山興業の活動〜

ラオスでの廃棄物資源化等環境ビジネスの展開



プラスチックのリサイクルなどに取り組む

加山興業(愛知県豊川市)がラオスで展開する環境ビジネスが、新たな展開を迎えている。同社は2015年にラオスで廃棄物処理等の事業を開始し、以来10年以上にわたって同国での取り組みを進めている。同社は、国際協力機構(JICA)の「中小企業・SDGシニア支援事業」を活用し、25年度度公示に採択され、ラオス国における食品廃棄物処理の改善を支援している。同社は、現地企業と連携し、高付加価値な製品を製造し、環境負荷低減と地域経済への貢献を目指している。

加山興業は、ラオスでの環境ビジネスの展開を加速させるため、現地企業と連携し、高付加価値な製品を製造し、環境負荷低減と地域経済への貢献を目指している。同社は、国際協力機構(JICA)の「中小企業・SDGシニア支援事業」を活用し、25年度度公示に採択され、ラオス国における食品廃棄物処理の改善を支援している。

食品廃棄物飼料化や ミズアブ活用のタンパク質原料製造で調査

食品廃棄物飼料化や、ミズアブ(水素化炭素)のタンパク質原料製造に関する調査が、加山興業によって進められている。この調査は、持続可能なタンパク質供給の新たな方法を探ることを目的としている。食品廃棄物を飼料として再利用することで、環境負荷を削減し、タンパク質の供給量を確保できる。また、ミズアブを利用したタンパク質原料の製造は、高付加価値な製品を生み出すことが期待されている。この調査は、持続可能なタンパク質供給の新たな方法を探ることを目的としている。



マニフェスト普及セミナーなども実施

産業医科大学(北九州市)は、「優れた産業医、産業保健専門職の養成と産業医学の振興」を目的に設立された私立大学で、厚生労働省労働基準局が所管する公設民営大学である。2014年より毎年学内で「大規模災害対応講習会」を開催しており、昨年11月には講習会を東京で初開催、今年も9月1日(東京都千代田区)のESAM(エスエムエー)ホールで開催する。委員長岡田龍史(産科生体学研究所教授)が講習会について語った。

産業医科大学 大規模災害対応講習会 初動対応者向け 9月2日に東京で開催

産業医科大学(北九州市)は、「優れた産業医、産業保健専門職の養成と産業医学の振興」を目的に設立された私立大学で、厚生労働省労働基準局が所管する公設民営大学である。2014年より毎年学内で「大規模災害対応講習会」を開催しており、昨年11月には講習会を東京で初開催、今年も9月1日(東京都千代田区)のESAM(エスエムエー)ホールで開催する。委員長岡田龍史(産科生体学研究所教授)が講習会について語った。

加山興業株式会社 I'm Here! 緑あふれるクリーンな日常を世界に。 ごみのお困りごと お任せください! 処理できずに困っている ごみはありませんか? 何でもご相談ください! みつばちと「リサイクル工場」との「蜜」な関係とは...? はちみつ・ギフトのご購入はこちら! KAYAMA 加山興業株式会社 〒442-0008 愛知県豊川市南千両2-67 0120-053-381



# 環境広場

かんきょうひ3ば

昨今の中東情勢の悪化に伴い、原油・天然ガス・ナフサの供給に不安が広がっています。サプライチェーンの問題は世界スケールの問題であり、政治経済と関連性が高いことを感じます。さらに影響は生活のあらゆる面に出ています。

農業では農業資材、梱包材、商品容器などの価格上昇が顕著です。ナフサ(炭化水素化合物)の混合物が原料となつたプラスチックが作られていることで直接的な影響を受けています。また、尿素などの肥料も手に入りづらくなっています。最初から尿素を含まない「尿素無添加(NH<sub>2</sub>)<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>」と表示された「尿素無添加(NH<sub>2</sub>)<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>」が、家庭菜園でも「尿素、リン酸、カリ」を加えるように植物を育てる際には窒素が重要です。また、尿素を含まない原油やナフサから尿素を作るといわれる「調べるみるみる」は、不思議に思いました。

## 生物学 × 環境

～大学の研究室より～ 2・③

東京大学名誉教授/東京農工大学嘱託教授 渡邊 雄一郎



### サプライチェーンから見た人間社会と植物—微生物コミュニティ



根粒(黄矢印)で固定された窒素源が根から植物に渡る様子。根粒は根と植物の共生関係を示しています。根粒は根と植物の共生関係を示しています。根粒は根と植物の共生関係を示しています。

空気中にある窒素分子(窒素)は、2000〜1千気圧といった高温高圧状態が必要となります。この窒素と天然ガス(メタン)を含む「アンモニア(NH<sub>3</sub>)」を用いてアンモニア(NH<sub>3</sub>)が作られ、そのアンモニアと二酸化炭素から尿素が作られています。アンモニアの大規模合成は、アンモニアと二酸化炭素を反応させて行われます。アンモニアと二酸化炭素を反応させて行われます。アンモニアと二酸化炭素を反応させて行われます。

# 廃棄から美へ、再生素材の新たな価値提案

## 三重中央開発などが「ONDO」プロジェクト開始 伊賀市で再生プラ活用のアート展示会



「サステナブルな・まちづくり」をテーマにしたパネルディスカッションも開催

大穴環境グループの三重中央開発、資源循環システムは、アートと再生プラスチックを活用したプロジェクト「ONDO - FROM WASTE TO WONDER -」を開始した。本格活動の第一歩として、4月17日から26日まで、三重県伊賀市の赤井家住宅(旧武家屋敷)で展示会「廃棄から美へ」を開催し、茶道具やインテリアなど再生プラスチックのサステナブルな作品を展示した。

同プロジェクトは、従来は低品位の樹脂を加えることで、従来はマイナスイオンとされていた表面のさらさらとした質感と、再生プラスチックの個性とを両立させたアート作品の展示会として開催された。展示会では、再生プラスチックの個性とを両立させたアート作品の展示会として開催された。



25日には、「サステナブルな・まちづくり」をテーマにしたパネルディスカッションも開催された。参加者は、再生プラスチックの活用と、環境と社会の未来について話し合った。

前山氏は、「再生素材には『安かろう悪かろう』という先入観が強い。しかし、価値が正しく評価されれば、再生プラスチック市場の拡大にもつながる。素材の背景や物語を含めて理解してもらって、再生素材が当たり前に流通する社会にしたい」と話した。

活用した作品展開の可能性を感じ、本格的なプロジェクト始動につながったという。展示会では、茶道具やインテリア作品などを展示し、再生プラスチックの個性とを両立させたアート作品の展示会として開催された。

また、展示会だけでなく、環境学習イベントも実施。平日は近隣小学校の児童を対象に、ペットボトルキャップを破碎・成型してカプセルを製作するワークショップを開催。土日には、一般参加向けにも実施し、リサイクル工程を体験的に学べる機会とした。

## 山菜ソムリエの旅 (8)

～食べられる野草 5月編～

自然共生研究家、山菜ソムリエ 山田 証



カキノキ(七つツワノ)の葉。新緑の季節は、木々の葉が美しく、食べられる野草も増えます。カキノキの葉は、新緑の季節に最も美味しく食べられる野草の一つです。

カキノキ(七つツワノ)の葉。新緑の季節は、木々の葉が美しく、食べられる野草も増えます。カキノキの葉は、新緑の季節に最も美味しく食べられる野草の一つです。

カキノキとクワの葉が最高に美味しい季節。新緑の季節は、木々の葉が美しく、食べられる野草も増えます。カキノキの葉は、新緑の季節に最も美味しく食べられる野草の一つです。

カキノキとクワの葉が最高に美味しい季節。新緑の季節は、木々の葉が美しく、食べられる野草も増えます。カキノキの葉は、新緑の季節に最も美味しく食べられる野草の一つです。

日本全国の森を旅し、野草を食しながら暮らす、自然共生研究家の山田証です。季節ごとに、お好みの食べられる野草とその利用方法を紹介します。

山田証は、自然共生研究家の山田証です。季節ごとに、お好みの食べられる野草とその利用方法を紹介します。

# 過去最多の3,450ブース、屋内屋外合わせ約60,000㎡



## CSPI 2026

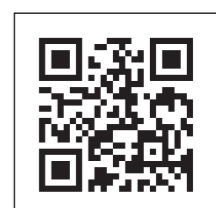
### 第8回 国際建設・測量展

International Construction & Survey Productivity Improvement

## 会期: 6月17日(水)・18日(木)・19日(金)・20日(土)

20日(土)に限り、一般の方・お子様連れの方もご来場いただけます

## 会場: 幕張メッセ 展示ホール1~8・屋外展示場(60,000㎡)



来場登録(無料)はこちら

# 本業界日本最大規模! 海外100社を含め606社が集結!